



Cisco Unified MeetingPlace for Outlook のアップグレード

この付録では、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 4.2.7 または 4.3 から Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3 へのアップグレードについて、および Release 5.3 以前のバージョンから最新のリリースへのアップグレードについて説明します。この付録は、次の項で構成されています。

- [アップグレードプロセスの決定 \(P.B-2\)](#)
- [アップグレードの実行 \(P.B-3\)](#)



(注)

サーバを Release 4.x からアップグレードする場合は、すべてのクライアントも Release 5.3 にアップグレードする必要があります。

■ アップグレードプロセスの決定

アップグレードプロセスの決定

固有の条件に応じ、現在の設定を特定して、正しいアップグレードプロセスを決定します。

表 B-1 アップグレードプロセスの決定

構成	固有の条件	アップグレード手順
単一サーバ構成	単一の Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバおよびこのサーバにのみインストールされる複数の Cisco Unified MeetingPlace for Outlook コンポーネントがある。	P.B-3 の「アップグレードの実行」の手順を実行します。
Segmented meeting access (DMZ) 構成 Segmented Meeting Access 構成の詳細については、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3 のマニュアルを参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> SMA-2S 構成の場合： ファイアウォールの内側に 1 台のフルアクセスの Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバ、DMZ にアクセス制限された 1 台の Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバがあり、また、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook コンポーネントが内部 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバだけにインストールされている。 SMA-1S 構成の場合： 内部 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバと外部 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバの両方の機能を果たす DMZ に 1 台の Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバがあり、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook がこのサーバにインストールされている。 	SMA-2S または SMA-1S 構成については、P.B-3 の「アップグレードの実行」の手順に従ってください。 他の DMZ 構成については、シスコのテクニカルサポートにお問い合わせください。『 <i>Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support</i> 』を参照してください。
Notification Services のみ	Notification Services コンポーネントだけがインストールされ、そのコンポーネントだけをアップグレードする。	コンポーネントをインストールするマシンで、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook インストーラを実行します。[Welcome] ダイアログボックスで、[Modify] を選択します。続いて、インストーラ画面の指示に従います。
その他のすべての構成	—	シスコのテクニカルサポート担当者に問い合わせてください。『 <i>Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support</i> 』を参照してください。

アップグレードの実行

アップグレード前後の設定は同一である必要があります。たとえば、単一サーバ構成では、同じサーバ上でアップグレードするために、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing および Cisco Unified MeetingPlace for Outlook は現在同じサーバ上に存在しなければなりません。

-
- ステップ 1** アップグレード時に明示的にサポートされていない方法でテンプレートをカスタマイズした場合は (P.6-2 の「[スケジューリング フォームおよび会議通知のカスタマイズについて](#)」の表を参照)、このバージョンにアップグレードすると、実行したカスタマイズが上書きされます。カスタマイズ済みの既存のテンプレートは、このリリースでは機能しません。
- ステップ 2** システムが『*Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3 リリースノート*』に記載されているシステム要件を満たすことを確認します。
- ステップ 3** Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールするすべてのサーバ上で Release 5.3 にアップグレードします。アップグレードの手順については、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3 のマニュアルを参照してください。サーバが起動し、稼動中であることを確認します。
- ステップ 4** Cisco Unified MeetingPlace for Outlook コンポーネントがインストールされているコンピュータで、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook インストーラの **Setup.exe** を実行します。
- ステップ 5** プロンプトが表示されたら、**[Modify]** をクリックして Release 5.3 にアップグレードします。
- ステップ 6** インストーラのプロンプトに従います。

ConfigClient ユーティリティで、必要な設定変更を行います。変更を行うかどうかにかかわらず、**[Save]** をクリックし、**[Close]** をクリックします。詳細については、P.3-2 の「[Cisco Unified MeetingPlace for Outlook クライアント ソフトウェアの設定について](#)」を参照してください。



(注) デフォルトで、Outlook 2003 に対するサポートは有効になっています (レジストリの変更が必要)。このサポートを無効にするには、P.3-7 の「[\[Client Options\] タブ](#)」の項を参照してください。

- ステップ 7** インストーラのプロンプトに従って、アップグレードを完了します。
- ステップ 8** 変更内容に応じて、アップデートしたクライアント ソフトウェアをエンド ユーザのマシンに配布します。P.3-2 の「[Cisco Unified MeetingPlace for Outlook クライアント ソフトウェアの設定の変更](#)」を参照してください。

サーバを Release 4.x からアップグレードする場合は、すべてのクライアントを Release 5.3 にアップグレードする必要があります。

■ アップグレードの実行